平成25年3月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上 場 会 社 名	株式会社クレハ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4023	URL	http://www.kureha.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	小林　豊
問合せ先責任者	(役職名) 広報・IR部長	(氏名)	数井　明生　(TEL) 03-3249-4651
四半期報告書提出予定日	平成25年2月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	96,242	2.4	7,851	△7.4	6,610	△17.2	4,138	223.7
24年3月期第3四半期	93,986	△6.1	8,477	45.4	7,979	55.0	1,278	△57.4

(注) 包括利益　25年3月期第3四半期　2,886百万円(　－%)　24年3月期第3四半期　144百万円(△85.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.10	24.07
24年3月期第3四半期	7.45	7.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	191,305	91,142	46.5
24年3月期	186,223	88,554	47.0

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　88,884百万円　　24年3月期　87,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―	5.00	―		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	2.8	8,500	0.3	6,000	△23.7	2,500	71.2	14.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：有

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	181,683,909株	24年3月期	181,683,909株
②　期末自己株式数	25年3月期3Q	9,950,896株	24年3月期	10,031,300株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	171,688,607株	24年3月期3Q	171,668,427株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報.....P2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....P2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....P3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....P4

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項.....P4

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....P4
(2)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....P4

3．四半期連結財務諸表.....P5

(1)　四半期連結貸借対照表.....P5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....P7
(3)　継続企業の前提に関する注記.....P9
(4)　セグメント情報等.....P9
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は復興需要に下支えされているものの、欧州債務危機の継続、中国経済の停滞と政治リスクの高まり等による外需の停滞も継続し、当社グループを取り巻く経営環境は大変厳しいものとなりました。

当社グループはこのような状況のもと、2012年度を初年度とする「中期経営計画GROW GLOBALLY-Ⅱ」(以下、「中計GG-Ⅱ」という)に基づき、更なる企業価値の向上に向けてスタートを切りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.4%増の962億42百万円、営業利益は前年同期比7.4%減の78億51百万円、経常利益は前年同期比17.2%減の66億10百万円となりました。

四半期純利益につきましては、災害損失を計上した前年同期に比べ、223.7%増の41億38百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	前第3四半期	当第3四半期	増減	前第3四半期	当第3四半期	増減
機能製品事業	23,974	20,572	△3,402	1,416	△703	△2,119
化学製品事業	23,273	25,262	1,989	4,379	5,282	902
樹脂製品事業	28,515	30,818	2,303	2,053	3,092	1,039
建設関連事業	8,827	9,461	633	740	479	△260
その他関連事業	9,395	10,127	732	710	191	△518
消去	－	－	－	△822	△492	330
連結合計	93,986	96,242	2,255	8,477	7,851	△626

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は第3四半期に入り半導体、電子・電気用途向けの売上げが低迷したものの、米国合弁事業は堅調に推移いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は工業用素材用途の売上げは前年同期に比べ伸長したものの、リチウムイオン二次電池用バインダー用途の需要が回復せず、PGA(ポリグリコール酸)樹脂は昨年完工した米国工場での試運転関連費用が発生し、この分野での売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

炭素製品分野では、炭素繊維での太陽電池向けシリコン製造装置用断熱材用途、特殊炭素材料での車載用リチウムイオン二次電池用負極材用途の需要低迷が続き、この分野の売上げは前年同期に比べ減少いたしました。又、営業損益は前年同期の営業利益から営業損失となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比14.2%減の205億72百万円となり、営業損益は前年同期14億16百万円の営業利益から7億3百万円の営業損失となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」慢性腎不全用剤「クレメジン」共に売上げが堅調に推移したことに加え、慢性腎不全用剤「クレメジン」の後発品に関する特許権侵害訴訟の和解金収入があり、又、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の輸出が増加し、この分野での売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、無機薬品類はか性ソーダの売上げが回復したものの、有機薬品類での原料価格の上昇により、営業利益は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比8.5%増の252億62百万円となり、営業利益は前年同期比20.6%増の52億82百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」共に売上げが前年同期に比べ増加し、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、多層ボトルは売上げが減少したものの、経費削減に努めて営業利益は増加いたしました。一方、欧州子会社は売上げは堅調なものの原料高の影響により減益となりましたが、この分野での営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

包装機械の売上げは増加いたしましたが、中国向けの食品フィルム用塩化ビニリデン・コンパウンドの売上げが減少し、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比8.1%増の308億18百万円となり、営業利益は前年同期比50.6%増の30億92百万円となりました。

④建設関連事業

建設事業は、前期からの繰越工事により、売上げは大幅に増加いたしましたが、資材費及び人件費の上昇などにより採算は悪化し、営業利益は前年同期並みとなりました。

エンジニアリング事業は、プラント建設において新規工事が増加いたしましたが、当事業に含めておりました環境関連エンジニアリング業務を当期よりその他関連事業に移管したため、売上げ、営業利益共に減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比7.2%増の94億61百万円となり、営業利益は前年同期比35.2%減の4億79百万円となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、前年同期に取引先企業が被災した影響は解消したものの、当期は競争激化によって受注減となり、売上げ、営業利益共に減少いたしました。

環境事業は、産業廃棄物処理は減少したものの災害廃棄物撤去管理業務等が増加し、売上げは増加いたしましたが、廃棄物処理コスト及び経費の増加があり、営業利益は大幅に減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比7.8%増の101億27百万円となり、営業利益は前年同期比73.0%減の1億91百万円となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、たな卸資産が増加いたしましたが売上債権が減少し、前期末に比べ5億85百万円減の662億36百万円となりました。有形固定資産は、いわき事業所及び海外生産拠点での高水準の設備投資等により、前期末に比べ64億35百万円増の935億53百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より下落したことにより、前期末に比べ12億47百万円減の301億96百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ50億81百万円増の1,913億5百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加と長期借入金の減少との差し引きにより、前期末に比べ66億20百万円増の633億3百万円となりましたが、仕入債務の減少などを差し引き、負債合計として前期末に比べ24億93百万円増の1,001億63百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純利益41億38百万円を計上、剰余金の配当17億16百万円を実施し、株式の評価差額金、為替換算調整勘定の減少などを差引きして、純資産合計は、前期末に比べ25億87百万円増の911億42百万円となりました。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、コンシューマー・グッズ分野や医薬・農薬分野において安定的に収益を確保しつつ、「中計GG-Ⅱ」で掲げているふっ化ビニリデン樹脂などの機能製品事業の拡大、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」のグローバル展開、PGA(ポリグリコール酸)樹脂やリチウムイオン二次電池用負極材の事業化推進等の施策遂行に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は前年同期に比べ、売上げ及び四半期純利益は増加いたしましたが、世界経済は、欧州債務危機などを背景とした減速、国際的な株式・金融市場の不安定化や為替の動向など、先行きは不透明さを増しております。当社グループにおきましても、太陽光発電市場、リチウムイオン二次電池市場、及び中国向け食品フィルム用原料市場において、停滞感が拭えない状況にあります。

こうした状況を踏まえ、今期の連結業績予想を修正し、売上高は1,320億円(前期比2.8%増)、営業利益は85億円(前期比0.3%増)、経常利益は60億円(前期比23.7%減)、当期純利益につきましては25億円(前期比71.2%増)といたします。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(注)	135,000	9,000	6,500	2,500	14円56銭
今回修正予想	132,000	8,500	6,000	2,500	14円56銭
増減額	△3,000	△500	△500	―	―
増減率　(%)	△2.2	△5.6	△7.7	―	―
前期実績	128,358	8,472	7,867	1,460	8円51銭

(注) 2012年11月13日公表の業績予想であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社では従来、有形固定資産(建物(建物附属設備を含む)及びリース資産を除く)の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、前期に策定した「中計GG-Ⅱ」の目標達成のため国際的な競争激化に対応して今後積極的な海外展開を拡大していく方針としたことを契機に、当社国内保有の有形固定資産の使用状況と今後の設備投資内容の精査を行った結果、これらは耐用年数にわたり長期安定的に稼働し、その修繕維持費に係る費用も平準的に発生、急激な技術的、経済的陳腐化は見られないことが確認できました。そこで、今後の海外展開を前提とすれば、当社海外子会社の全てが採用している定額法を当社グループ全体で採用することで、生産設備を中心とした有形固定資産投資の実体をより適切に反映させることができ、グループ一体の設備投資効果もより容易に把握できると判断したためです。

この結果、従来の方法によった場合に比べて減価償却費は11億98百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は11億98百万円それぞれ増加しております。

3．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,857	8,902
受取手形及び売掛金	29,586	25,525
商品及び製品	15,540	18,102
仕掛品	1,118	2,168
原材料及び貯蔵品	5,493	5,095
その他	6,295	6,508
貸倒引当金	△69	△68
流動資産合計	66,821	66,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,897	30,331
機械装置及び運搬具（純額）	33,387	34,425
建設仮勘定	8,537	13,053
その他（純額）	15,296	15,742
有形固定資産合計	87,118	93,553
無形固定資産	840	1,319
投資その他の資産		
投資有価証券	16,882	15,292
その他	14,883	15,070
貸倒引当金	△322	△167
投資その他の資産合計	31,443	30,196
固定資産合計	119,402	125,069
資産合計	186,223	191,305

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2012年3月31日）	当第3四半期連結会計期間 （2012年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,262	16,341
短期借入金	16,049	20,553
未払法人税等	576	2,416
賞与引当金	2,061	919
役員賞与引当金	65	55
災害損失引当金	579	277
その他	18,721	22,898
流動負債合計	57,316	63,462
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,634	12,750
退職給付引当金	650	576
役員退職慰労引当金	336	324
環境対策引当金	163	163
資産除去債務	785	794
その他	2,781	2,091
固定負債合計	40,352	36,700
負債合計	97,669	100,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,149	9,150
利益剰余金	71,988	74,406
自己株式	△4,546	△4,510
株主資本合計	89,051	91,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,609	2,530
繰延ヘッジ損益	△5	△12
為替換算調整勘定	△5,048	△5,141
その他の包括利益累計額合計	△1,444	△2,622
新株予約権	82	58
少数株主持分	864	2,200
純資産合計	88,554	91,142
負債純資産合計	186,223	191,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2011年4月1日 至 2011年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2012年4月1日 至 2012年12月31日）
売上高	93,986	96,242
売上原価	66,670	70,209
売上総利益	27,316	26,032
販売費及び一般管理費	18,838	18,181
営業利益	8,477	7,851
営業外収益		
受取利息	41	43
受取配当金	624	580
持分法による投資利益	162	201
為替差益	－	105
その他	261	201
営業外収益合計	1,090	1,132
営業外費用		
支払利息	586	604
設備休止期間費用	－	810
売上割引	259	357
為替差損	279	－
その他	463	601
営業外費用合計	1,587	2,373
経常利益	7,979	6,610
特別利益		
補助金収入	97	231
受取賠償金	－	119
事業譲渡益	700	－
その他	56	10
特別利益合計	854	361
特別損失		
固定資産除売却損	1,117	339
固定資産圧縮損	97	69
投資有価証券評価損	1,300	54
減損損失	72	－
災害による損失	3,754	－
その他	20	38
特別損失合計	6,363	501
税金等調整前四半期純利益	2,471	6,469
法人税等	976	2,393
少数株主損益調整前四半期純利益	1,495	4,076
少数株主利益又は少数株主損失（△）	216	△61
四半期純利益	1,278	4,138

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自　2011年4月1日 至　2011年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2012年4月1日 至　2012年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,495	4,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	△1,089
繰延ヘッジ損益	△28	△6
為替換算調整勘定	△1,079	△84
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	△9
その他の包括利益合計	△1,350	△1,190
四半期包括利益	144	2,886
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53	2,960
少数株主に係る四半期包括利益	198	△74

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自　2011年4月1日　至　2011年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	機能製品事業	化学製品事業	樹脂製品事業	建設関連事業	その他関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,974	23,273	28,515	8,827	9,395	93,986	―	93,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,032	258	837	7,650	5,127	14,906	△14,906	―
計	25,007	23,531	29,353	16,477	14,522	108,893	△14,906	93,986
セグメント利益	1,416	4,379	2,053	740	710	9,300	△822	8,477

（注）1 セグメント間取引消去によるものであります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自　2012年4月1日　至　2012年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	機能製品事業	化学製品事業	樹脂製品事業	建設関連事業	その他関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,572	25,262	30,818	9,461	10,127	96,242	―	96,242
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,138	197	693	5,544	5,277	12,850	△12,850	―
計	21,710	25,459	31,511	15,005	15,404	109,092	△12,850	96,242
セグメント利益又は損失(△)	△703	5,282	3,092	479	191	8,343	△492	7,851

（注）1 セグメント間取引消去によるものであります。
2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。